

(8) オ 電話・通信設備保守・運営業務詳細仕様書

電話・通信設備保守・運用業務仕様書（以下「仕様書」という。）は、センタービル、アネックス、ドリーム・コア及びワークショップ24の通信設備保守・運用業務（以下「業務」という。）の基準を示すものであり、その基準は次のとおりである。

指定管理者は、仕様書に基づき、センタービル、アネックス、ドリーム・コア及びワークショップ24の施設設備及び運営に悪影響を与えることのないよう誠意を持って業務を実施し通信設備の保守点検および運用を行うこと。

なお、仕様書に記載のない軽微な事項については、上記の目的を達するよう自らの判断で実施すること。

1 業務の内容

(1) 電話設備に係る通信設備保守・運用業務

ア センタービル、アネックス、ドリーム・コア及びワークショップ24（ソピア・フラッツを除く）内の電話設備・機能が常に最良の状態稼働するよう、維持管理を行うこと。

対象設備（電話交換機、UPS、一般・多機能電話機、音声応答装置等）については、別紙電話設備概要図を参照のこと。

イ 配線の追加、変更に関し、配線系統図の加筆、修正を行ってください。また、最新の配線系統図の整備を実施すること。

ウ 設備に異常が発生し、又は発生するおそれがある場合は、速やかに専門技術員が応急措置にあたり緊急時の対応を実施すること。

(2) ビジネスサポートネットワークにかかる通信設備保守・運用業務

ア ビジネスサポートネットワーク回線・設備管理保守

センタービル、アネックス、ドリーム・コア及びワークショップ24の施設にビジネスサポートネットワークとして敷設された管理敷地内光ケーブル及び端子盤に関連する設備一式について、設備機能を保持すること。

その他、通信回線を良好な状態に保つため、年間166千円程度の伝送路試験・保守点検を実施すること。

イ ビジネスサポートネットワーク障害時の受付窓口及びその対応

設備に異常が発生し、又は発生する恐れがある場合は、速やかに専門技術者が応急措置にあたり緊急時の対応を実施すること。

ウ ビジネスサポートネットワーク回線管理業務

岐阜情報スーパーハイウェイや企業間などの当該回線の利用状況管理（線番管理）を行うこと。

(3) ベンチャービジネス支援システムにかかる通信経路の確保等

ア ベンチャービジネス支援システムの通信経路の確保

ドリーム・コアにおいて、インキュベートルーム入居者支援にインターネットが利用できる環境をベンチャービジネス支援システム（「VB支援システム」と略す）として整備。当該システム通信経路の確保については指定管理者において実施することとし、これに係る経費（専用回線使用料）負担を行うこと。

イ メールサーバーの運用

VB支援システムの付加サービスとして、インキュベートルーム入居者に対し、無料メールアカウントサービスを実施。

ドメイン「@softopia.info」を引き継いで、メールサーバー機能を確保すること。

ウ VB支援システムの障害時の一時対応について

県が直接外部委託している維持管理業務委託の契約内容（(8)二 「ベンチャービジネス支援システム」維持管理業務委託仕様書）を引継いで機器の維持管理業務契約を締結した上で運営管理を実施すること。また、入居

者から指定管理者の窓口に障害等の連絡があった場合には、一次対応および外部受託者への連絡等の措置を行うこと。

エ ビジネスサポートネットワーク回線管理業務

インキュベートルーム新規入居者に対し、VB支援システムの概要を説明し、イのメールサービスについて希望者からの申請書を取りまとめて管理運営を実施すること。なお、年間のメールアカウント設定登録・削除件数は20件程度。

(4) ワークショップ24の通信設備にかかる設備保守・運用業務

ア ビジネスサポートネットワークへの接続

「ビジネスサポートネットワーク」のワークショップ24からセンタービル間の接続については、NTTの地下管路を通して確保済み。光ファイバーの収容管路について、NTTから地下管路の借上げを実施すること。

現行は、専用回線の使用料として、年間628千円程度の経費を指定管理者負担として実施。

イ ワークショップ24およびソピア・フラッツのインターネットサービスの提供

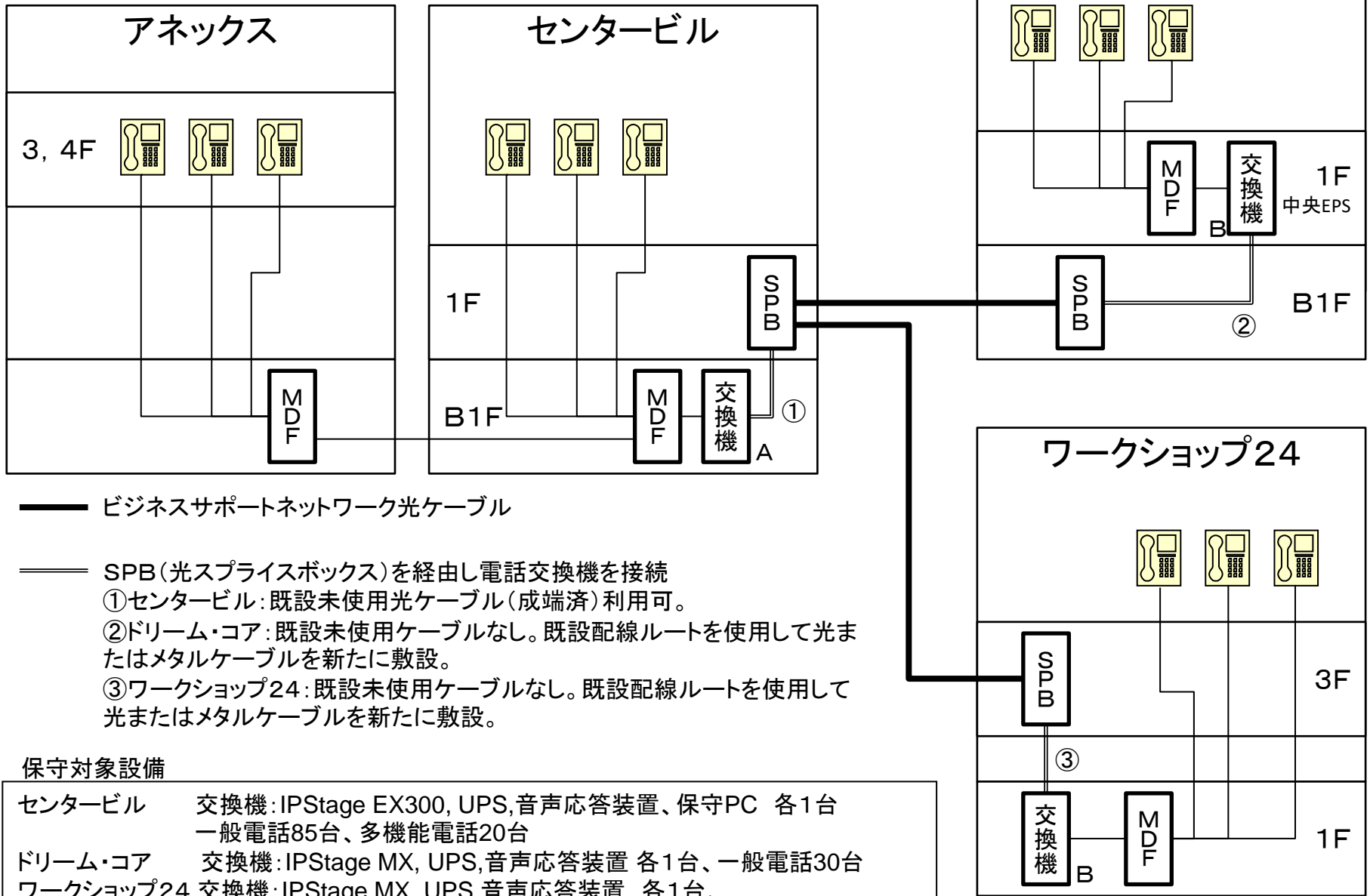
ワークショップ24およびソピア・フラッツの建物において、インターネット等の接続利用を提供すること。

詳細については別添(8)オー2 ワークショップ24インターネット運用業務を参照のこと。

ウ コワーキングスペースのインターネットサービス(フリーWi-Fi)の提供

コワーキングスペースにおいて、利用者にインターネット(フリーWi-Fi)の接続利用を提供すること。

(別紙) 電話設備概要図



——— ビジネスサポートネットワーク光ケーブル

——— SPB(光スプライスボックス)を經由し電話交換機を接続

①センタービル: 既設未使用光ケーブル(成端済)利用可。

②ドリーム・コア: 既設未使用ケーブルなし。既設配線ルートを使用して光またはメタルケーブルを新たに敷設。

③ワークショップ24: 既設未使用ケーブルなし。既設配線ルートを使用して光またはメタルケーブルを新たに敷設。

保守対象設備

センタービル	交換機: IPStage EX300, UPS, 音声応答装置、保守PC 各1台 一般電話85台、多機能電話20台
ドリーム・コア	交換機: IPStage MX, UPS, 音声応答装置 各1台、一般電話30台
ワークショップ24	交換機: IPStage MX, UPS, 音声応答装置 各1台、 一般電話20台、多機能電話10台
アネックス	一般電話7台

(8) オー 2 ワークショップ 2 4 インターネット運用業務詳細仕様書

ワークショップ 2 4 インターネット運用業務詳細仕様書（以下「仕様書」という。）は、ワークショップ 2 4 及の通信設備保守・運用業務（以下「業務」という。）の基準を示すものであり、その基準は次のとおりである。

指定管理者は、仕様書に基づき、ワークショップ 2 4 及の施設設備及び運営に悪影響を与えることのないよう誠意を持って業務を実施し通信設備の保守点検および運用を行うこと。

なお、仕様書に記載のない軽微な事項については、上記の目的を達するよう自らの判断で実施すること。

1 業務の内容

ワークショップ 2 4 の建物において、インターネット等の接続利用を提供すること。

なお、現在運用しているドメイン「workshop24.jp」の管理を指定期間開始前の受託業者から引き継ぐとともに、指定期間開始前に入居者が使用しているメールアドレス、ホームページを継続して使用できるよう、必要に応じてデータの移設等を行い、指定期間開始前のサービスレベルを維持すること。

また、これらの移行作業の実施にあたっては、利用者への影響が最小限となるよう作業スケジュールを設定すること。

2 利用区分

館内 LAN は部屋の種類ごとに下記の利用区分とする。

2 階（店舗）入居者	1 部屋（コワーキングスペースは別回線）
2 階施設管理者	6 部屋
3 階会議室	1 部屋
3～4, 6 階（技術開発室）入居者	6 6 部屋
8～10 階（住居）入居者	6 4 戸（以降住居 1 戸を 1 部屋とする）

部屋の配置、回線については別添図面を参照のこと。

※IAMAS については別途学校側で設置します。

3 提供するサービス

上記の各利用区分の利用者に対し、以下のサービスを提供すること。

(1) 常時利用者へのインターネット接続サービス

- ・各部屋からインターネットへの常時接続サービス
- ・1 部屋に対し、クラス C 相当（250 個以上）の固定プライベート IP アドレスが利用可能であること。

(2) 常時利用者へのサーバ利用サービス

① メールサービス機能

1 部屋に対し、最大 2 つまでのメールアドレスを提供すること。このメールアドレスについては、下記要件を満たすこと。

(ア) サービス開始時点で各部屋 1 つのアカウントを設定すること。

(イ) 利用者自身が下記の設定変更を web ブラウザから行える仕組みを用意すること。

- ・電子メールの転送先設定・解除
- ・電子メールのパスワード変更
- ・電子メールアカウントの変更
- ・各部屋 2 つ目の電子メールアカウントの追加（最大 2 個とする）

(ウ) 送受信される電子メールのウイルス対策を行うこと。

(エ) 出張先等外部からのメール送受信を可能にすること。ただし、外部からの送信の際には送信前認証等の導入等、セキュリティ対策を講じ、不正中継を行えないようにすること。

(オ) w e bメールサービスを有すること。

② ホームページサービス機能

(ア) 1部屋に対し、100MBのホームページ公開用スペースを提供すること。

(イ) このサーバサービスのための専用のサーバ機を用意し、運用すること。

(ウ) サーバ機においては、以下を満たすこと。

- ・ワークショップ24の全館停電時等の長時間停電の際も運用を続行すること。

(商用電源停電時は必ず発電機等によるバックアップを行うこと)

- ・落雷などの不慮の停電時においても、停止させないような体制をとること。
- ・利用者からのアクセス速度が最大10Mbps以上で通信可能な環境に設置すること。
- ・コンテンツ保管用及びメール用ハードディスクにはRAID1（ミラーリング）相当の障害対策を行うこと。

4 提供条件

サービス提供にあたり、下記を必ず満たすこと。

(1) 上位回線速度

最大100Mbps程度のインターネット上位回線を用意し、本サービスへの提供を行うこと。

(2) 接続におけるセキュリティ対策

ア マルチハブVLAN機能等を用い、各部屋間の直接通信ができないようにすること。

イ ファイアウォール等を設置し、インターネットから各部屋への直接通信ができないようにすること。

(3) サポート

ア 各種設定変更等の専用w e bページを設けること。

イ ワークショップ24内に設置するネットワーク機器については同等以上の予備機を1式以上用意し、故障発生時は速やかに予備機に交換すること。

ウ 質問、故障対応のために以下の体制を整えること。

問い合わせ元	利用者	
	質問	障害対応
電話によるもの	受付： 通常受付番号設置 平日 10：00～17：00 対応： 平日 10：00～17：00	受付： 通常受付番号設置 平日 10：00～17：00 対応： 原則即時対応
メールによるもの (即時受付扱い)	対応： 平日 10：00～17：00	対応： 原則即時対応

5 その他

本サービス提供用に以下の設備が用意されており、これらの使用について費用は発生しない。詳細は別添図面を参照のこと。

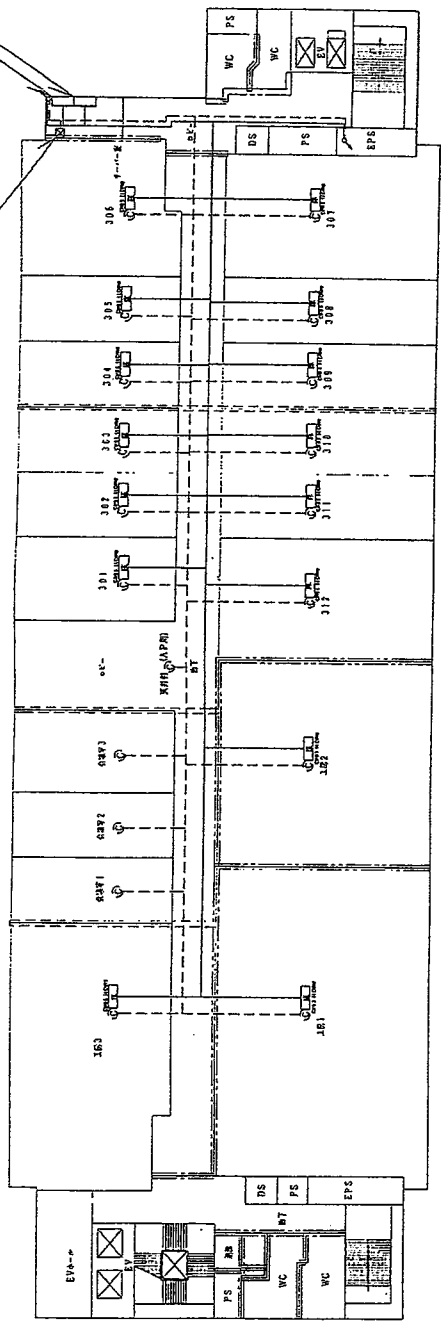
- ・館内LAN配線
- ・サーバ室から各階EPSへのメタルケーブル（CAT6：RJ45コネクタ付き）
- ・各階EPSから各部屋へのメタルケーブル（CAT6：RJ45コネクタ付き）

各階E P S内には配線盤が用意されC A T 6 ケーブルは盤内まで配線済み。各階E P Sにハブを設置する場合は配線盤内に収めること。(盤内にE I A規格準拠の1 9 インチラック相当の取付金具を準備済み)

- 5階サーバ室から7階E P S間接続光ケーブル
- ソフトピアジャパンビジネスサポートネットワーク (ワークショップ2 4分)
- センタービル「ビジネスサポートネットワーク通信機械室」から各部屋への光ケーブル (シングルモード各部屋まで4芯。S Cメスコネクタ付き)
- センタービル「ビジネスサポートネットワーク通信機械室」から5階サーバ室への光ケーブル (シングルモード8芯。両側にS Cメスコネクタ付き)
- サーバ室から各階E P Sまでは1 G b p sにて接続すること。

19インチラック (700×800×2000) 内
HUB24

CNB1.0.0 (壁付)
SPB8.0 (壁付)



3 階

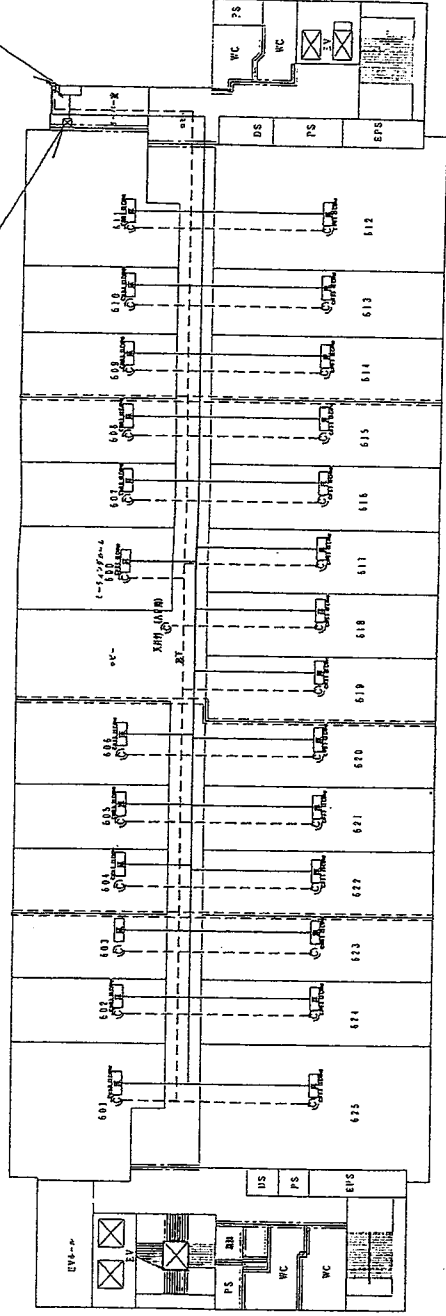
凡 例

- 光ケーブル (CAT 6)
- - - ツイストペアケーブル (CAT 6)
- SPBまたはCNB (光融着箱)
- HUBBOX
- ⊗ 19インチラック (700×800×2000相当)
- ◎ 情報コンセント

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
19F		20F		21F		22F		23F		24F		25F		26F		27F		28F		29F		30F		31F		32F		33F		
19F		20F		21F		22F		23F		24F		25F		26F		27F		28F		29F		30F		31F		32F		33F		

19インチラック (700×800×2000) 内
HUB48

SPB204 (設計)

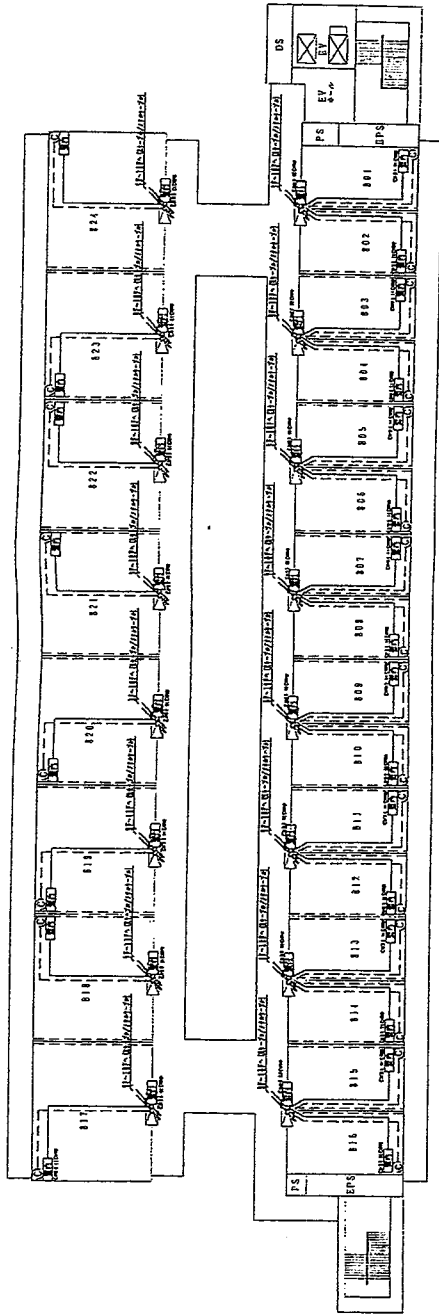


6 階

凡例

- 光ケーブル (CAT6)
- - - ツイストペアケーブル (CAT6)
- SPBまたはCNB (光融着箱)
- HUBBOX
- ⊗ 19インチラック (700×800×2000相当)
- ⊙ 情報コンセント

図名	6階配線図
図番	6階配線図
縮尺	1/100
作成	2013.08.13
確認	2013.08.13
設計	2013.08.13
チェック	2013.08.13
承認	2013.08.13
備考	

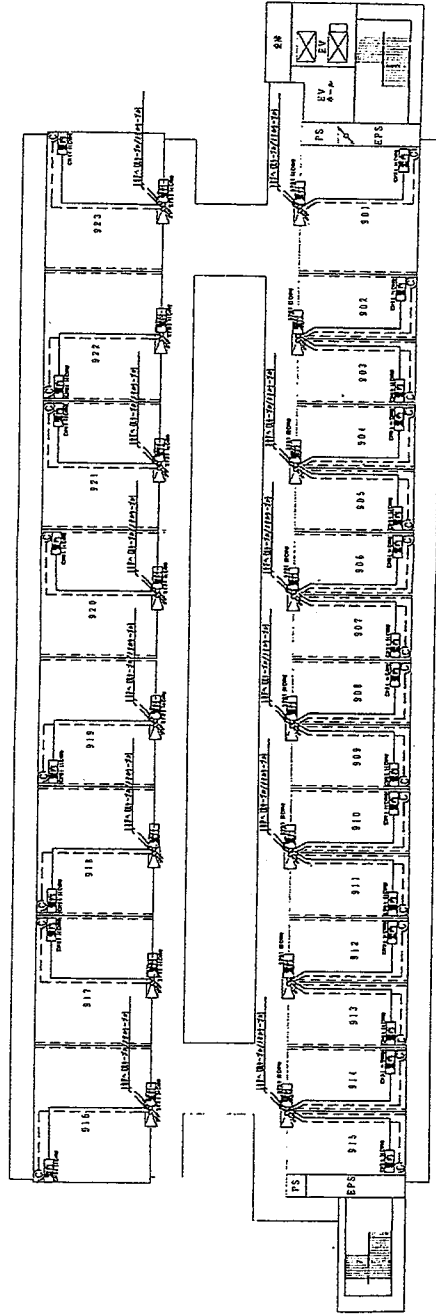


8 階

凡 例

- 光ケーブル
- - - ツイストペアケーブル (CAT6)
- SPBまたはCNB (光融着箱)
- ▣ HUBBOX
- ⊗ 19インチラック (700×800×2000相当)
- Ⓢ 情報コンセント

プロジェクト名		〒100-0001 東京都千代田区千代田	
設計者		〒100-0001 東京都千代田区千代田	
施工者		〒100-0001 東京都千代田区千代田	
発注者		〒100-0001 東京都千代田区千代田	
図面番号		〒100-0001 東京都千代田区千代田	
作成日		〒100-0001 東京都千代田区千代田	
縮尺		〒100-0001 東京都千代田区千代田	
備考		〒100-0001 東京都千代田区千代田	

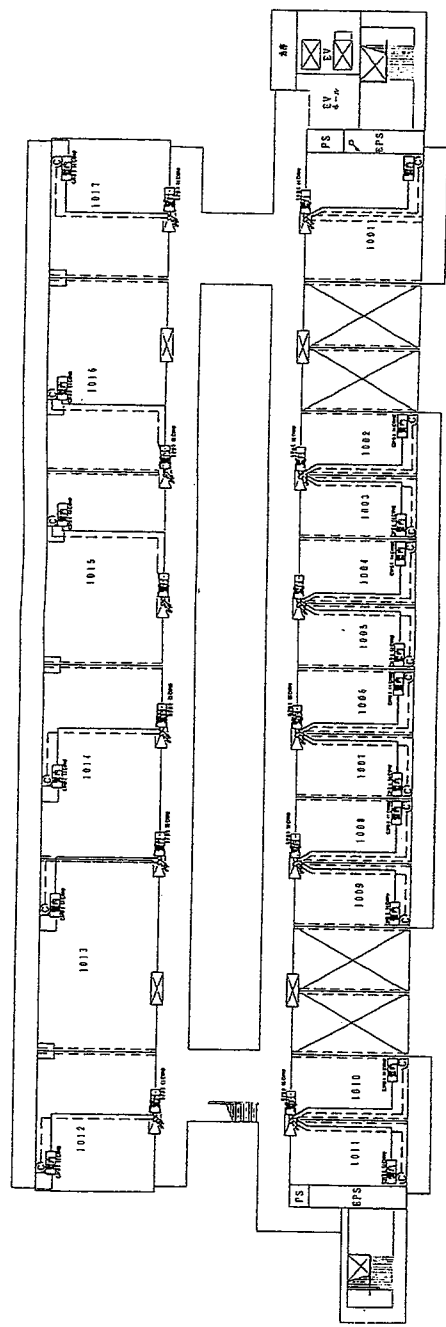


9 階

凡 例

- 光ケーブル (CAT6)
- - - ツイストペアケーブル (CAT6)
- SPBまたはCNB (光融着箱)
- HUBBOX
- ⊗ 19インチラック (700×800×2000相当)
- ◎ 情報コンセント

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
階別設備表 9階 1. 設備名 2. 数量 3. 単位 4. 備考 5. 位置 6. 図面番号 7. 設計者 8. 承認者 9. 日付 10. 備考																			



10 階

凡例

- 光ケーブル (CAT6)
- - - ツイストペアケーブル (CAT6)
- SPBまたはCNB (光融着箱)
- HUBBOX
- ⊗ 19インチラック (700×800×2000相当)
- ◎ 情報コンセント

2014年 2月28日	10階	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010	1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017
2014年 2月28日	10階	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010	1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017
2014年 2月28日	10階	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010	1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017